

第34回戦争と原爆の遺構めぐり

被爆者の皆さんに直接被爆した場所を案内していただき、あらためて被爆者の皆さんの思いを聞きながら、戦争と原爆の跡をたどる企画です。核や戦争を許さないとの決意を新たに、被爆者の皆さんの思いを今後の継承活動に活かしていくために、被爆60年を機に継続して取り組んできました。今回で34回目になります。

今回は、長崎原爆遺族会会長の本田魂（ほんだ・たましい）さんに被爆した現地でお話を伺います。本田さんは、被爆当時、祖父母や母と一緒に駒場町（現在の松山町）で暮らしていました。母や祖母を原爆で亡くしましたが、当時1歳だった本田さんは町外にあった防空壕にいて助かりました。記憶にはないがその後知った被爆当時のこと、駒場町で過ごした幼少期のこと、平和に対する思いなどをお話していただきます。

貴重なお話です。ぜひ多くの皆さんに本田さんから、直接話を聞いていただき、平和について考える機会にさせていただきたいと思います。

日時：2021年11月21日（日）10時～12時

集合場所：長崎交通公園（長崎市油木町6-40）入口前

証言者：本田魂さん（長崎原爆遺族会会長）

* 参加される場合は、必ず「崎山」へご連絡ください。新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスクの着用などにご協力ください。

主催：長崎県被爆二世の会

問い合わせ先 事務局長 崎山昇

携帯電話 090-2519-2066